

【プログラム】

- 13:20～13:30 **はじめに** 加藤 将夫 先生 (金沢大学/JSSX 会長/APDD)
- 13:30～15:00 **≪第一部≫ 動態研究における分析技術**
- モデレーター 佐々木 晃 先生 (田辺三菱製薬株式会社/APDD)
- 13:30～14:00 『がんが発現する EphA2 を標的としたラジオセラノスティクスプローブの開発』 木村 寛之 先生 (金沢大学 疾患モデル総合研究センター)
- 14:00～14:30 『イメージング質量分析 (IMS) のグローバルガイドライン策定に向けて～医薬品の研究開発への活用を目指したグローバルサーベイの結果～』 田中 由香里 先生 (塩野義製薬株式会社)
- 14:30～15:00 『創薬効率化に向けた全細胞空間解析技術の活用』 洲崎 悦生 先生 (株式会社 CUBICStars/順天堂大学 大学院医学研究科)
- 15:00～15:15 休 憩
- 15:15～16:35 **≪第二部≫ ヒト試料を用いたバイオマーカー分析の実践と発展**
- モデレーター 中井 大介 先生 (第一三共株式会社/APDD)
- 15:15～15:35 『治験で取得した臨床試料の管理と活用』 小坂 俊幸 先生 (第一三共株式会社)
- 15:35～16:05 『治験におけるバイオマーカー分析』 小熊 敏弘 先生 (第一三共株式会社)
- 16:05～16:35 『次世代バイオマーカーとしての腸内細菌が切り開く個別化医療と未来の健康管理』 菅沼 名津季 先生 (株式会社 bacterico/慶應義塾大学 薬学部)
- 16:35～16:50 休 憩
- 16:50～17:10 **総合討論** モデレーター 佐々木 晃 先生、中井 大介 先生
- 17:10～17:20 **おわりに** 山崎 浩史 先生 (昭和薬科大学/APDD 代表理事)